

東北地域の野生鳥獣による農作物被害金額は約11.7億円

東北地域の令和4年度農作物被害金額は約11.7億円で、前年度に比べ約0.4億円減少しました。【図1】

鳥獣別の被害割合は、シカ26%と最も大きく、次いでイノシシ20% カラス14%、サル8%、ハクビシン・クマがそれぞれ7%の順となっています。【図2】 一方、作物別の被害割合は、果樹が43%と最も多く、次いでイネ27%、野菜15%の順となっています。【図3】

- シカによる農作物被害金額は約5,000万円増加したものの、イノシシは前年度に比べ約6,500万円減少し、シカやイノシシなどの獣類全体で約3,000万円の減少となりました。カラスなどの鳥類による農作物被害金額も全体で約1,000万円減少しました。
- しかし、被害が増加した県（青森県、岩手県）もあり、被害範囲が拡大し対策が追いついていない地域もあります。
- 農林水産省では「鳥獣被害防止総合対策交付金」により、農作物被害対策として鳥獣の捕獲や侵入防止柵の設置等による被害防除、緩衝帯の整備等による生息環境管理等の支援を行っており、東北農政局は東北6県を通じ市町村等に対して、鳥獣交付金を活用した被害対策の取組を推進しています。

図1 農作物被害金額の推移（東北）

(億円)

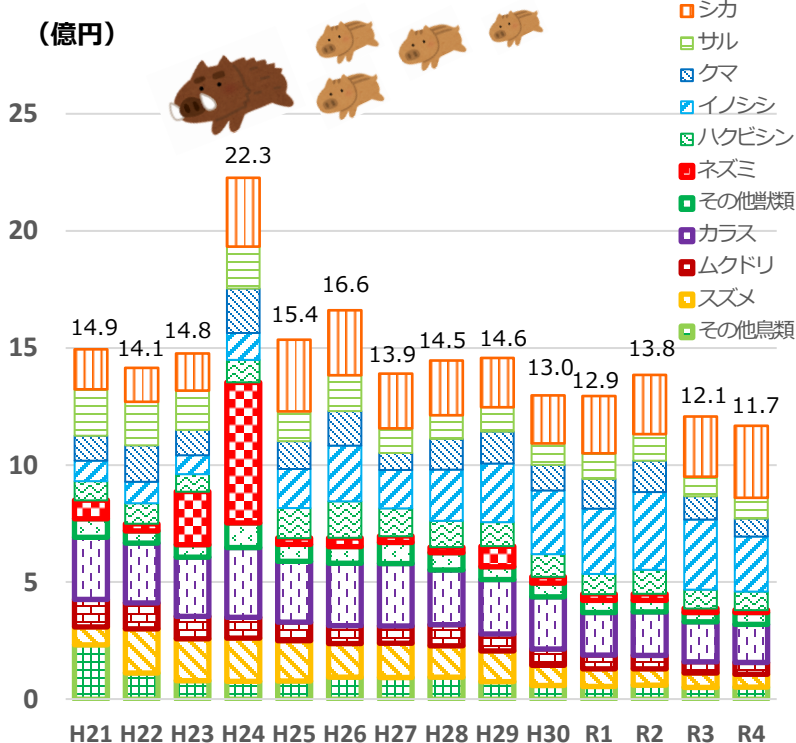


図2 鳥獣別被害金額割合

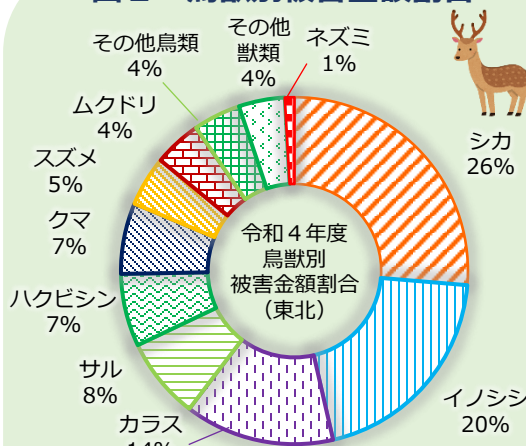
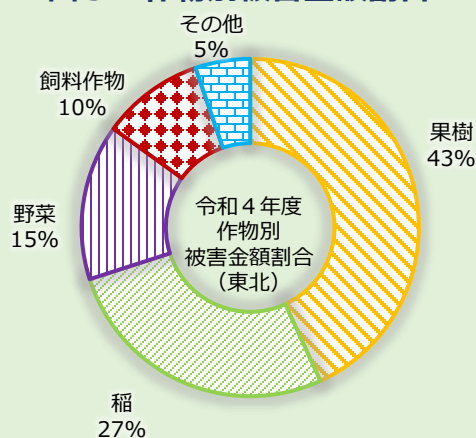


図3 作物別被害金額割合



・鳥獣被害対策コーナー

野生鳥獣に対する農作物被害防止対策のための様々な情報はコチラ
<http://www.maff.go.jp/j/seisan/tyozyu/higai/index.html>

・ジビエ利用拡大コーナー

捕獲した野生鳥獣の利活用についての様々な情報はコチラ
<https://www.maff.go.jp/j/nousin/gibier/index.html>

◇ 東北における野生鳥獣による農作物被害状況は、東北農政局ホームページをご覧ください。
(<https://www.maff.go.jp/tohoku/seisan/tyozyu/higai/index.html>)

上記紙面の問い合わせ先：東北農政局 農村振興部 農村環境課 022-221-6260

Flower Valentine

～花は自由なラブレター～

バレンタインデーが「世界でいちばん花が売れる日」と呼ばれていることをご存じでしょうか。バレンタインデーは世界各地で花と共に愛や感謝の気持ちを伝える、とても素敵な日とされています。一方、日本では、1、2月は切り花の消費が他の月に比べて少ない時期となっています。このため、花き業界では、2月14日を業界統一キャンペーン「**フラワーバレンタイン**」として需要の創出に取り組んでおり、農林水産省もこの取組を応援しています。

東北農政局では2月の消費者展示コーナーで東北産の切り花やフラワーアレンジメントを展示し、「**フラワーバレンタイン**」や2027年に横浜で開催される「**2027年国際園芸博覧会**」に向けた取組を紹介し、ぜひご来場ください。

展示期間：2月1日～2月15日
展示場所：仙台合同庁舎B棟1階
行政情報プラザ

消費者展示コーナーに関する情報は、東北農政局HPをご覧ください。
(<https://www.maff.go.jp/tohoku/press/syouan/syouthiseikatsu/240129.html>)



高病原性鳥インフルエンザに注意！ 渡り鳥シーズンへの備え

◎ 防鳥ネットや壁に穴はあいていませんか？

農場内の整理・整頓を行い、一見隙間がなさそうな家きん舎の侵入口や、普段目が届きにくい場所などを再点検しましょう。

◎ 家きん舎の周辺・出入口の消毒を確実に実施していますか？

消毒等が適切にできているか、動線が交差していないか確認し、全ての従業員・外来事業者で衛生対策を徹底しましょう。

家きん舎の周囲には、**ウイルスの侵入経路が多く存在しています**。人・車両、野生動物を介したウイルスの侵入防止のため、今一度、**点検・確認**をお願いします。



鳥インフルエンザに関する情報はコチラ
<https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/index.html>

「豚熱」・「アフリカ豚熱」の侵入防止！

豚熱は、東北では令和2年12月に山形県の農場、令和3年12月に宮城県の2農場で発生しました。また、野生イノシシの豚熱感染は、これまで青森県を除く東北各県で確認されています。

近隣国では、豚熱及びアフリカ豚熱の発生が継続しており、侵入リスクが高い状況が続いていますので衛生管理を徹底しましょう。

豚熱情報はコチラ

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/csf/index.html>



アフリカ豚熱情報はコチラ

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/asf.html>



野生イノシシの豚熱検査情報情報はコチラ

https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/csf/wildboar_map.html



↑目的の二次元バーコードがうまく読み込めない場合は、指などで不要な二次元バーコードを隠した状態で読み込んでください。



地域からの便り

各県拠点では「農山漁村の季節の風物詩」、「農産物直売所、農漁家民宿等の取組」、「村おこしイベント」、「農山漁村の行事、お祭り」、「郷土料理」など東北各地域の取組や様子などを東北農政局HPで紹介しています。各記事の詳細は二次元バーコードからご覧ください。

福島県拠点 (2024年1月9日掲載)

ー福島県・大玉村ー

稲作の伝統文化を継承する 本揃田植踊り保存会

安達太良山の麓にある大玉村は、福島県のほぼ中央に位置し、肥沃な大地に恵まれた農業が盛んな農村地帯です。今回は、大玉村玉井地区に250～300年前から受け継がれている「本揃（もとぞろ）の田植踊」と呼ばれる民俗芸能を紹介します。



写真：稲作の伝統文化を継承する本揃田植踊り保存会（大玉村教育委員会 提供）



二次元バーコードから 詳細をご覧ください。

青森県拠点 (2024年1月22日掲載)

ー青森県・南部町ー

寒風に揺られる丹色のカーテン ～江戸時代から続く伝統の干し柿作り～

青森県の東側、南部地域にある名久井（なくい）岳は、山の端正な姿から南部小富士と呼ばれています。その名久井岳の麓にある南部町鳥舌内（ちょうしたない）地区では、妙丹柿（みょうたんがき）を使った干し柿作りが盛んに行われています。



写真：寒風に揺られる丹色のカーテンと濃いあめ色となった干し柿



二次元バーコードから 詳細をご覧ください。

◆「食・農ひとくち情報」の詳しい情報は、東北農政局ホームページをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/tohoku/hitokuti/index.html>

◆「食・農ひとくち情報」の問合せ先：東北農政局企画調整室支援チーム
022-263-1111（内線4402、4076）

